

中臣祓詞俚諺解

完

特36

591

014479-000-3

特36-591

中臣祓詞俚諺解

田中 勇吉/著

M28

ABB-0857



皇御國と言靈の幸はふ國とたぐへて仮初の詞  
たまたたおそかなるのり何りしと漢字のまる  
來しより此かた何くれの詞をもがら漢文

字に寫を世とはなりけり是を詞と文のわか

れに始なりけるさまといはしへハ詞正しけ

れはそを寫す文も聊の何やまりもなかりつる

とやうく世のくたちゆくまに文はた

筆先のすさひとあり詞は口より出るにまらせ

をうつり來るは今は文と詞と此れちめいち

とるくおそなりにたれ扱とも世お傳せる文等

數多あれども今のさまれみ多くていまへの

めてあきはいと稀なり爰にいにへの正と



詞を寫せるハ大稜乃詞ニ志クモ此そなきされ  
と此詞今乃世ニ似ル切事神々しく耳とほはれ  
と其詞乃何なるぞわきまへしらざる人もはた  
多らむととあきらかに教へさとさむとて曾  
根此里なる田中主ガ懇ニも俗言もて山乃い  
り此山賤ニも聞と至安く説示されたる是の諺  
解よ其こころしらびのこまや可なるおと天津  
菅曾を八針にとりそれたる如くは一あれハ打  
見む人ハいと安らにさととり得てもふ霧を朝  
風に吹ハらふ如く心のそこあはるけなむる

田中 小稻

# 中臣稜詞俚諺解

墨軒 田中 勇吉 著

## 解題

昔、伊邪那伎尊、黄泉ニ到リマシテ穢レナサレタニヨツテ、ソレヲ清メンガ爲メ、  
系ノ小門デ大御身ニ御著ケナサレタモノヲ悉クヌギ捨テ、穢ヲ拂ヒナサレマシタ。次  
ニ海潮ニ大御身ヲ滌ギナサレタ。コレガスナハチ身滌デス。又須佐男尊ニ贖物ヲ責メ  
出サセ申シテ穢物トシテ逐ヒナサレタコトガアリマス。カヤウニ上ノ御自ラ物ヲ御  
捨テナサレタノモ、他ヨリ責メテ物ヲ出サセルモ事ノ意ガ同ジイカラ此二神ノ御業ヲ  
言セテ穢みそぎノ法トシテ人ノ代ニモ行フノテス。サテソノ伊邪那伎尊ハ稜、身滌ヲ  
アサレテ遂ニ尊イ大御神ヲ生ミナサレ、須佐男尊ハ贖物ヲ出シ御身ヲ逐ハレテ後  
ニ、清キ御心トオナリナサレタ。ガ、今ハコノ三ツノ事ヲ兼テ單ニ稜トハイフノテ  
ス。

コレヲ中臣稜詞トイフノハ中臣氏ノ宜ル詞ダカラサウ唱ヘルノテ、實ハ大稜ノ詞トイ

フノガ正シイノテス。但シ中臣祓詞トイフノモ古代カラノ事デ、古語拾遺ニ「此天罪者今中臣祓詞也」ト見エ、又詞トイフ文字ヲ省イテ言ウタハ今昔物語ニモ推古天皇ノ御代ニ有ツタコトヲイフタトコロニ「麻苧の注連を木の本にひきまゝとして木のもとに米散し幣奉て中臣祓を讀ませて云々」トアリマス。サテ稗ト稗詞トハ自ラ差別アルノデ、此詞ハ稗テハナウテ、稗ノ祝詞テス。又コレヲ讀ムノモ稗テハアリマセヌ。稗ハ稗ノワザヲシテ其時ニコノ詞ハヨムモノテ、經陀羅尼ノヤウニ取扱フノハタゞ世ノ習ニ從フダケ。

高天原<sup>タカマノハ</sup>神<sup>カミ</sup>留坐<sup>ルマシマ</sup>。皇親<sup>スヘガ</sup>神<sup>カミ</sup>漏岐<sup>ロギ</sup>神<sup>カミ</sup>漏美<sup>ロミ</sup>乃<sup>ノ</sup>命<sup>ミコト</sup>以<sup>モチ</sup>氏<sup>ヂ</sup>八<sup>ヤ</sup>

百萬<sup>ホヨロソノ</sup>神<sup>カミ</sup>等<sup>ナリ</sup>神<sup>カミ</sup>集<sup>ツド</sup>集<sup>ツド</sup>賜<sup>タマフ</sup>神<sup>カミ</sup>議<sup>ヒカ</sup>議<sup>ヒカ</sup>賜<sup>タマフ</sup>我<sup>ワ</sup>皇<sup>ミコ</sup>御<sup>ミ</sup>孫<sup>マ</sup>之<sup>ノ</sup>

命<sup>ミコト</sup>波<sup>ハ</sup>豊<sup>トヨ</sup>葦<sup>アシ</sup>原<sup>ハラ</sup>乃<sup>ノ</sup>水<sup>ミヅ</sup>穗<sup>ホ</sup>之<sup>ノ</sup>國<sup>クニ</sup>乎<sup>ヤ</sup>安<sup>ヤス</sup>國<sup>クニ</sup>止<sup>ト</sup>平<sup>ヒラ</sup>久<sup>ク</sup>所<sup>シ</sup>知<sup>シ</sup>食<sup>シ</sup>止<sup>ト</sup>事<sup>コト</sup>

依<sup>ヨサシ</sup>奉<sup>マツリ</sup>岐<sup>キ</sup>

○高天原トハコノ國土カラ日ノ神ノ居ナサル處ヲイフ言テ、天ハ高イモノダカラ

たかあまたイフヲハ略クハ連聲ノ音便デス。原ハ河原、野原ナドト同ジヤウニ廣ク平カナノチイフ語。○神留坐ノ神ハ崇メ詞デ、留坐ハ今イフ鎮坐ニ同ジク、つまりモとまりモ同言デス。○皇親ノ皇ハタゞ尊ム言デス。睦ハ御睦みトイフコトデ天皇ノ御祖ヲ指シマス。○神漏岐神漏美ハ皇祖ノ男女ノ神デ、岐ハ男神ノコトニ、美ハ女神ノコトニイフノハ諸冊ニ尊ノ御名デモ明カナコトデス。ソシテココハ高御生集日神、天照大御神ヲ指ス。○命以氏ノ命ハ詔命ノコト。○八萬神等ハ數多キ神ヲチトイフコト。○神集ハ「令集」ノ約マツタ詞デ他ノモノヲ集ハシメルノデス。自ラ集フ意ノ集ヒトハ差別ガアリマス。○我皇御孫之命ノ我ハ皇祖神ヲチノ我デ皇御孫命ハ途々藝命ヲ指イテ詔リナサレタノデス。○豊葦原ノ豊ハ美稱デ寛大ナコト。葦原ハ國ノ始ノ有様ニツイテイツタダケ。○瑞穗之國ノ瑞穗ハミヅミヅシイ穗デコレハワガ國ノ異名デス。○安國ハ安見シ玉フ國ノ意。○所知食ハ「領し治む」ノ敬語。○事依ハ勅任ノ字ニアタル語。依ハイヒヨセ授ケル意デ「寄す」ノ敬語デス。聞くヲ聞こすトイフヤウナモノ。

如此依志奉志國中爾荒振神等乎波カ神問志爾志問志賜カ

神掃爾掃賜比氏コト語問志磐根樹立草之垣葉乎毛語モ

止氏天之磐座放天之八重雲乎伊豆乃千別爾千カ

別氏天降依左奉支

○國中ハココハ俗ニ國中トイフニ同ジイ語。○荒振神等ハ荒レタナテワロイ神ノ

コト。○神問爾問賜ノ問ヲ「どはし」トイフハ延ベタ語デ、古言ノ常デス、サテ國

中ニ多イ荒振神ドモニ歸順スルカ、ドウジヤヤト問ウテ歸順スルノハ懐ケテ、ワ

ロイノヲ善イ方ニ教ヘサトシ、歸順セヌノハ退ケナドシタマフノデス。又神問志

神掃ノ神ハ神集、神議ノ神ト同ジヤウニ尊敬ノ詞、○語問志ハ物イフコトデ、前

ノ神問トハ別デス。○磐根ハタ、岩ノコトデ根ハ添ヘテ言ツタダケ。例ヘバ嶋ヲ

嶋根、屋ヲ屋根、羽ヲ羽根、トイフ類デス。○樹立ハ木ノ扛トノコト。○垣葉ハ借

字、片葉ノコトデス。○語止氏、止ハ令止、約マツマノデ、他ヲシテ止メサセ

ル意テス。○天之磐座ハ天ニオハシマシタ高御座デス。コレハ磐ノヤウニ固ウシテ

不變ナノニ取ツタダケ。○伊豆ハ稜威ノ字ノ意デ銳キ勢ノコト。漢書ノ注ニ神靈

之威曰レ被トアルノデ明カデス。○千別ノ千ハ借字デ、道別ノ略デス。道ヲオシワ

ケルヲライフ

如此久依依奉志四方之國中爾大倭日高見之國カ

乎乎安國止定奉氏下津磐根爾宮柱太敷立高天カ

原爾千木高知氏皇御孫之命乃美頭乃御舍仕奉カ

氏氏天之御蔭日之御蔭止蔭坐氏

コレヨリ神武天皇以來ノ御代ノコトヲイウテアリマス。○國中コトハ天下四方ノ

真中ノコト。○大倭ハ今ノ大和國ヲ指ス。○日高見之國ハ日ノ高ク見エルコトカ

ライフノデス。○下津磐根ハ上代ハ地ヲ堀ツテ柱ヲ立テタカラデ、カヤウニスルノ

ハ動カヌ有様デス。○宮柱太敷立ハ柱ヲ太ク繁ク立テルコト。○千木ハ垂木ノコ

トテ、其高イノハ宮ノ大キナ有様デス。○高知ノ知ハ「しるき」ト同ジ意ノ詞デ、千木ノ高ク著シク目立ツテ見エルコト。○美頭乃御舎ノ美頭ハ物ノ美シイノヲホメテイフ言、御舎ハ家ノ敬語デ「御在處」ノ轉カトイフ。○仕奉ハ仕ノ敬語デ、コトハ造リ奉ルコト。○天之御蔭日之御蔭ハ天ヲ復ヒ、日ヲ復フガタメノ屋ダカラ、カヤウニイウタノデス。サテ天之御蔭トノミイウテモ十分ナノニ又日之御蔭ト同ジヤウノコトヲ二ツ重ネテイフノガ古語ノ格。

安國ヤスクニト止マヒラ平ケクシ所知食メサムクヌ國中ニ爾ナリイデム成出マシム天之益人等マシト我  
過犯アヤマチチカシ家牢ケムクサ雜々ツツミ罪事ト波ハ天津罪アマツツミ止ト畔放ハナトミ溝埋ヅツ樋放ヒナチ  
頻蒔シキマキ串刺クシサシ生剝イキハギ逆剝サカハギ屎戶ソソヘ許々コト太久タメ罪ツミ乎ナ天アマ  
津罪ツツミ止ト法別ホウベツ氣氏ケヂ

天之益人ハ古事記ニ「伊那那美尊人章一日絞殺千頭」伊那那岐尊書一日立千五

百濟ヤマトト有ツテ、人ハ死ヌノヨリモ生レルカ多イカラ益人トイフノデ、天之ハタ  
トホメテイフダケデス。○家牢ハ過ギ去ツタコトヲ想像スル辞。○雜々ハ種々ニ  
同ジイ語。○天津罪止ハ「天津罪トて」ノ意デ「といひて」トイフヤウナ辞。○  
サテ七ツノ罪ハ須佐能男尊ノ犯シナサレタ罪ダカラ、今國人ノ犯シテアルノモ其  
罪ノ類ヲバ天津罪トイフノデス。○畔放ハ畔ヲ取放サテ界ヲ失ハセ、水ヲモ湛タヘシ  
メヌコトデス。○溝埋ハ溝ヲ埋メテ水ヲ引カザラシメルコトデス。○樋放ハ樋ヲ  
取放ツテ旱ニモ水ノ入用ノ時ニモシカタノ無イヤウニスルコト。○頻蒔ハ種子ヲ  
一度蒔イタ上ニ重ネテ蒔クコト。○串刺ハ田ノ泥ノ中ニ杭串ヲ隠シ刺イテ、足ヲ  
イタメサセテ下リ立タセヌヤウニスルコト。○生剝ハ生キテアルノヲ剝グ意。○  
逆剝トハ凡テ獸皮ヲハグニハ尻ノ方カラ逆ニ頭ノ方ヘ剝グサウデカウイフノデス  
。○屎戶ノ戸ハ借字デヘリノリヲ省イタ言。サテ「くそへり」トハ古事記ニ「屎  
麻理マトアルノト同ジイ事デ尿ヲスルノデス。○許々太久ハ幾何ノ意デ、數多キモ  
ノヲ明ニ數ヘナイデ、大方ニイフ言。○天津罪止法別氣氏ノ天津罪止ハ「天津罪  
出でん。それを心天津罪と宣別けて」トイフ意デアルケレドモ「出でん」ヲ省イ

タノデス。サテ法ハ借字デ宜別ノ義。此事ヲ行フモノミイウテワケルヲイフ。

國津罪止ハ。生膚斷死膚斷。白人胡久美。已母犯

罪。已子犯罪。母與子犯罪。子與母犯罪。畜犯罪

昆虫之災。高津神之災。高津鳥之災。畜仆志。蠱

物爲罪。許々太久乃。罪出武。

○國津罪ハ身体ノ上ヲ過ツノヲ罪トシ、天津罪ハ經營ノ業ヲ害スルノヲ罪ト致シ

マス。ソシテ天津罪ハ國津罪ヨリモ重イ。○生膚斷ハ生キテ居ル人ノ膚ヲ疵ツケ

ルノデス。サテ斷トハ切ルト同ジイコト。○死膚斷ハ死人ノ膚ヲ傷ツケルコト。

○白人トハ白肌トイウテ白歴癩シロナマズノコトデス。○胡久美ハ病肉アヤシトイウテ腫物癩ハレモノコブノ類

○此等ハ汚キダナイ物ダカラ穢ケガレヲ以テ罪トスルノデ、祓ハラヘニヨツテ清メルノデス。○己母

犯罪己子犯罪ハ古事記仲哀天皇ノ御卷ニ「上通下通婚」トアル類デ、上ヲ奸シ下

ヲ奸スノデス。○母與子犯罪トハ先ヅ一人ノ女ニアウテ、又其女ノ嚮ムカヒキニ也人ニ

嫁シテ生ナマメ女子ノアルノユ、アトデ犯スコト。母トハ其女子ニ對ヘテイヒ、子

トハ其母ニ對シテイツダダケ。○子與母犯罪ハ先ヅアル婦人ヲ奸シテ、又其婦人

ノ母ヲモ奸スルコトデ、前ノ母與子犯罪トハ前後ノ違ダケデス。即チ前ノハ先ヅ

母ニアウタノハ犯デナイケレドモ、後ニ其子マデ奸スルノガ犯デ、ココハ子ニア

ウタノハ犯デナイケレドモ、後ニ其母ニモ奸スルノガ犯デス。○畜犯罪ハ畜類ヲ

犯シタ罪デス。○昆虫乃災ハタダ虫類ノ害ノコト。○高津神ハオモフニ雷デアリ

マセウ、高ハ空ノコトデス。○高津鳥乃災ハ空飛トビフ鳥ノ災デ、屋根ノ上ヲ飛ビ渡

ル諸鳥ノ毒アル糞、又ハサウナクテモ惡シキ物ナド昨ヒ來テ、ソノ毒ニアタル類

○畜仆志ハ人家ニ畜ウテアル牛馬ナドヲ頓ニ斃スコト。○蟲物マシモノ爲罪ハ呪咀シタ

罪デス

如此カク久ク出イデ波バ天津宮事ツツミヤミト以モ氏ノ大中臣オホナカノミ天津金木ツツミカネキ乎ナ本モト

打切ウチキリ末打斷スエウチダト千座置座チサノオキグラニ置足キキダヲハシ波志ハシ氏ノ

○出波ハ將然格デ、已然格ノ「出づれ心」トハチガツテキマス。○天津宮事ハ高

天原ナル天照大御神ノ朝廷デ行ヒタマフ儀式ノコト。○大中臣ハ神事ニ預ル職デ、天兒屋命カラ始メテ神事ニ預ル官ヲ中ツ臣トイウテ、コレハ神様ト天子様トノ中ヲ取ツテ宜シク申シ請フワケダサウデコレヲ大中臣トイフノハ天子様ノ大御事ニカカルノヲバズベテ大某トイフト同ジイコトデス。○天津金木ノ天津ハ其モト天津神事マニヨツテアガノテイフノデ、金木（金ハ借字）ハ細クキツタ木ノ枝ヲイヒマス。○本打切末打斷ハ若木ノ本末ヲ切捨テテ中央ノヨイトコロヲ物ノ置座トスルコトデ、切ルモ斷ツモ同ジ事デハアルケレドモ言ヲカヘテ例ノ文飾ヲナシタノデス。○置座ハ人々ノ出シタ穢物ヲ取集メテ居キ置ク臺。○千座ハソノ置座ノ數ノ多イコト。○置足ハ滿ツル程置クコト。

コノ段ハ「天津金木をーかトかして千座の置座に造りろの千座の置座に穢物を置足らはして」トイフ意デス。ガ、ツレヲ省イテ言葉少ナニイフガ古文ノ妙一

天津菅曾アマツスガソノ乎モト本苻斷モト末苻切ハ八針ハ取辟ハ天津アマツ  
祝詞ノ乃ハ太祝詞事ハ乎モト宣ハ禮ハ

○菅曾ノ曾ハ佐乎ノ約マツタノデ、結ノ事ジ何ニモアレイフ名。ソノ佐ハ眞ニ通ウテ眞緒ノ意デス。菅曾トイフモ管ヲ細ク割イテ細ニシタモノダカラ菅眞緒トイフノデス。○八針ハ取辟ハノ八ハ「彌」ノ意デ管ヲ細ニサクノデス。ソレハ針デ割クモノダカラ。天津祝詞ハ大祓ノコトヲイフテアル祝詞。太祝詞ハ事太ハ目出度イノヲホメテイフ詞デ、祝詞事ハ宣説言ノ意。○宣禮ハ仰セル言デスカラ、コトハ必ズ利ヲ禮ニ寫シ誤ラレタノデアリマセツ。

此カ如ク久ク乃ハ良キ波ハ天津神アマツカミ波ハ天磐門アマノイハト乎モト推披オシヒキ氏ハ天之八重アメノヤヘ  
雲クモ乎モト伊豆イヅ乃ハ千別チキベ爾ハ千別チキベ氏ハ所聞食ソコシメサム武ハ

○天磐門ハ天津神ノマシマス殿ノ御門ノコトデ、磐ハ天磐座ノ磐ト同ジヤツニ堅固ナル義デス。○天之八重雲ノ天ハ空ノコト。八重ハ彌重ノ義デス。○伊豆乃千別ハ云々ハ下ノ伊穗利ハ搔別ト同ジコトデ、「大祓するろの邊の高山の上に天降りまゑてきこしめさん」トイフ意デス。○所聞食ハ大中臣ノ宣申ス此後ノ詞ヲ御聞キナサラウトイフコト。



國津神波高山之末短山之末上坐高山之伊  
穗利短山之伊穗利搔別所聞食武

○高山之末ノ末ハ山ノ上ノコトデ、麓ヲ山本トイフニ對スル語。サテコレハ高山トイフガ主デ、短山ハ輕ク添ヘテ詞ノアヤヲナシクダゲデス。○伊穗利ハ其山ノ雲霧デス。俗言ニモ烟ナドノ「いふる」トイフト同ジイ。

天津神ノ高山ノ上ニ天降りナサルノハ天ヨリ近イノニ便利ヨイカラデアリマセウ。サルカラニ必ズ國津神ガツノ高山ノ上ニノボリナサレテ、諸共ニコノ祝詞ヲ御聞キナサレテ、カヲ協セテ世ノ中ノ罪穢ヲ掃ヒ清メナサレルコトデス。

如此久所聞食氏波皇御孫之命乃朝廷始天下  
四方國爾波罪止云罪不在止科戸之風乃天之八  
重雲乎吹放事之如久朝之御霧夕之御霧乎朝

風夕風乃吹掃事之如久

○氏波ハ「てあらむ」ノ意デ、波ハ濁音ニヨムベキ格デス。○罪止云布罪波ハ罪トイフ限リノ罪ハ一ツモ殘サズ悉クトイフ意デス。○不在ハ皆消エ失セテ殘リガアルマイトイフコト。○科戸之風ハ古事記ニ「乃吹撥之氣化神号曰級戸邊神亦曰級津彦命是風神」ト有ツテ、後ニ科戸之風トハイフクナス。○御霧ハ眞霧ノ意デ、さ霧トイフニ同ジイ詞。

雲ヲバ「はちつ」トイヒ、霧ヲバ「拂ふ」トカヘテイフノモ例ノ詞ノアヤデス。  
大津邊爾居大船乎舳解放艦解放氏大海原爾押  
放事之如久

○大津ハ船ノ泊マル處。○居ハ泊リ居ルコト。○押放ハ押シ放チ出スノデス。  
彼方之繁木本乎燒鎌乃敏鎌以打掃事之如久

○彼方ハ俗ニイフ「あなた」ニ同ジイ語。○繁木ハ榮エ茂レル木。○燒鎌ハ燒イテ及ツケタカラデス。○敏鎌ハ利鎌ニ同ジイ語。

遺罪波不在止。祓給比清給事乎。高山之末。短山之

末與里。佐久那太利爾落多岐。速川能瀨坐須。瀨織

津比咩止云神。大海原爾持出奈武。

○給ハ公事ダニヨツテ、上ヨリ穢ヒ清メナサレル意。○事乎ノ事ハ諸人ノ犯シタ罪事ヲ指イテイフノデス。然ルニ一説ニハコノ事ハ諸人ノ罪穢ヲトリツケタ穢ツ物ヲイフトアリマス。○落多岐都ハ「落沸」ノ意デ、作用言四段連体格デス。○速川能瀨ハ川ノ急流ナノヲイヒマス。○瀨織津比咩ハ禍津口神ノコト。○持出ハ物ヲ流シヤルヲ、此神ガ澳ヘ特チ出デナサルトスルカラデス。○奈武ハ過去ノ動助辞ノぬノ變化ナルカニ未來ノ動助辞ノむノ添ハツタモノ。

如此久持出往波。荒鹽之鹽乃八百道乃。八鹽道之

鹽乃八百會爾座須。速開都比咩止云神。持可々吞氏

武

○荒鹽ノ荒ハ荒山、荒野ナドイフニ同ジク、生レナガラノ儘ナルコトデ、タダ潮ノ義デス。○八百道トハ潮道ノ多イコト。○八鹽道トハ上ノ鹽之八百道ヲ承ケ重ネテイウタノデス。○八百會ハ方々ノ潮路ノ集リ合フ處。即チ海ノ底ニ卷没レルトコロデス。○持ハ輕ク添ヘク詞。○可可ハ俗ニイフガぶガぶデ水ヲ吞ム音デス。○氏武ハ過去ノ動助辞ツノ變化テニ動助辞むノ加ハツタモノデ、未來ヲ示シ願フ心ヲ現ハス。

如此久可々吞氏波。氣吹戶爾坐須。氣吹戶主止云神。

根國底之國爾。氣吹放氏。

○氣吹戸ノ戸ハ處ノ義デ、風氣ノ脈ヲイフ。サテ氣吹戸トハ此氣吹戸主ノ神ノ諸ノ罪穢ヲイブキ放チヤリナサレル處デス。○氣吹戸主ハ即チ直昆ノ神デス。○根國底之國ハ黄泉ノ國ヲイフ。根ト底トハ同ジ意ナルヲニツイフガ例ノ文飾デス。○氣吹放ハ息デフキ放チヤルコト。

如此カク久ク氣吹放キフキハチ根國底之國ネクニツクノタニ坐速佐須良比咩マ  
云神持佐須良比失ウシナイテム

○速佐須良比咩ハ次ノ言ヲオモフニ佐須良比比咩ト今一ツ比ノ字ノアルヘキヲ同音ガ重ナルカラ省イタノデス。コノ神ハ須佐之男命ノ別魂……○佐須良比ハ流離ノ意。海底ニ行方モ知ラレズ成シテ、ウシナヒナサルコトデス。○比波モ比波モ前ニイフテアルカラコトニハ省ク。

如此久失クウシヒケバ天皇朝廷メラガミカド仕奉留ツカサレ官々人等ツカサレヒトモ始ハジメテ

天下四方アメンシタ自今日始ケルハジメテ罪ツミ云イフ罪ツミ不在アツシ高タカ

天原マノハラ耳振立聞物ニミミフリタキクク馬牽立ウマヒキタテ稜給ハラヒタマヒ清給事キヨメタマフコト

諸神等モロモロノカミ平ヒラ聞食キコシ止セ白シロ須ス

○高天原ニギハヤヒ爾ニハタト「高く」トイフコトデス。必ズシモ高天原マデ至ルケケデアリマセヌ。耳振立聞物ニミミフリタキクク止トハ上ノ「千木高知」トイフニ同ジク、タダ高くトイフコトデス。○馬牽立トハ馬ハ耳疾キ獸マカラ、神タチガ此申ス詞ヲ疾クキコシメヌ由テ稜ハラヒ物トシテアルノデス

# 中臣祓詞俚諺解 (ヲハリ)

明治廿八年一月十二日印刷  
全年月二十日發行



著者

田中 勇吉

發行者

野鳴 半七

新潟縣南蒲原郡一ノ木戸  
大字一ノ木戸十五番戸

印刷者

眞鳴 玄平

全縣中蒲原郡白根町  
大字能登第百六番戸

發賣所

野鳴 書店

越後三條一ノ木戸

正價金九錢

# ◎大販賣所

東京	金港堂書籍會社
全	柳原文盛堂
全	長嶋文昌堂
全	金 櫻 堂
全	杉本幹香堂
長岡	目黒十郎
全	覺張治平
全	松田周平
新瀨	櫻井産作
全	村上寛司
水原	西村六平
地藏堂	江口藤吉
高田	室直二郎
全	高橋書店

# ◎縣下賣捌所

◎三條 原山。樋口。山井。大田。  
 ◎下田 荻野。小師。◎加茂 明田川。  
 番場。藤岡堂。又新館。川口屋。◎村松  
 梅のや。さわや。◎小須戸 高山。須藤  
 ◎新津 近重。◎笹岡 坪谷。◎新發田  
 大竹。◎村上 早川。◎燕 龜倉。◎吉  
 田 矢作屋。くば九や。◎和納 布屋。  
 ◎卷 清流堂。いせ政。◎曾根 中彦。  
 古嶋。◎白根 中長。谷。◎與板 大澤  
 ◎柏崎 桑野。◎柿崎 西卷。◎高田  
 高橋。佐々木。◎小千谷 見陽堂。◎小  
 出 伊倉。◎水澤 福嶋。◎石地 細山  
 ◎浦佐 筆新。◎六日町 目黒。◎堀内  
 大平。◎塩澤 扇屋。◎相川 幅野。



